

## 資料の利活用促進に向けた アジア情報室の取組

平成28年度アジア情報関係機関懇談会  
国立国会図書館報告

平成29年2月7日(火) 国立国会図書館関西館アジア情報課

## はじめに アジア情報室の機能

### 1 概要・サービス

アジアに関する情報を扱う国立国会図書館関西館の  
専門資料室

- アジア関係資料の収集
  - アジア地域刊行資料は納本対象でないので、購入・交換等で入手
- レファレンスサービス(来館・電話・文書)
  - 資料の所蔵調査(当館・国内他機関・国外機関)
  - 漢詩の出典・日本語訳
  - 統計・ビジネス情報 etc.
- アジア言語資料の書誌情報の整備**
- アジア関係の情報発信**
- 研修などを通じた外部機関との連携**

2

## はじめに アジア情報室の機能

### 2 主なアジア言語資料の所蔵統計(H28.3時点)

	図書(冊)	雑誌(誌)	新聞(紙)
中国語	359,674	4,367	368
朝鮮語	46,054	2,880	175
インドネシア・マレー語	17,196	226	18
ベトナム語	4,823	144	16
タイ語	4,779	109	6
ビルマ語	1,799	108	4
ヒンディー語	1,042	16	3
ペルシア語	3,252	61	11
アラビア語	2,742	81	7
合計(※)	470,439	8,163	697

※表中にない言語も含む総数

3

## はじめに アジア情報室の機能

### 3 所蔵資料の特徴と課題

- 所蔵数量は国内有数規模
- 研究者が個人で入手しづらいアジア各国の新聞、雑誌、年鑑類に力を入れており、国内他機関に所蔵がないタイトルも多い
- 1945年以前の新聞・雑誌や連環画など貴重な資料群も

#### ● 課題

国内(日本語)資料に比べると、  
アジア言語資料が十分に  
利活用されているとは言えない

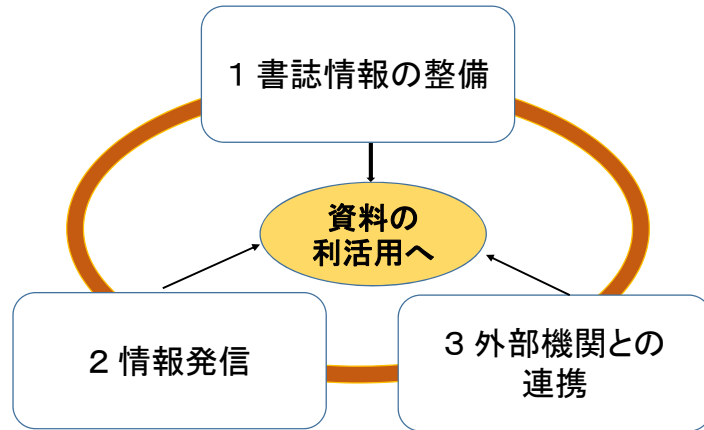


資料の利活用促進のためには、  
どのような取組が必要か？



4

# 資料の利活用促進に向けた取組の柱



## 1 書誌情報の整備

### 1-1 書誌の作成と公開

資料の利活用されるためには、書誌情報の公開が必要

#### ■ 図書の本誌作成・公開実績(平成27年度)

- 中国語 7,405冊
- 朝鮮語 3,098冊
- **諸言語 1,205冊**※→ 職員の語学研修及び非常勤職員を活用して整理

語学力を有する職員が担当

※ベトナム語・ビルマ語(H27年度)、インドネシア語・ビルマ語(H28年度)

#### ■ 本誌作成の課題

- 未整理や未遡及(蔵書目録データベース未入力)の資料の滞貨  
⇒ 中国語・朝鮮語以外の未整理資料、中国語未遡及資料(約2.3万冊)など

## 1 書誌情報の整備

### 1-2 本誌に関する新しい取組み

#### ■ ビルマ語本誌データを国立国会図書館の蔵書目録データベース(NDL-OPAC)に公開(H27.1)

- 原綴でのDB公開は国内初

#### ■ 諸言語本誌作成の勉強会(H28)

- 公共・大学図書館を対象
- H28年度はベトナム語本誌
- 言語ができないときの工夫やノウハウ

#### ■ 外注による遡及入力(H28～)(中国語図書)

- H28年度は約2,400冊  
⇒ NDL-OPAC公開作業中(～3月末)

タイトル	著者	出版者 / 出版年
ကုမ္ပဏီပုဂ္ဂိုလ်များ - ပထမအကြိမ်	ရှင်မောင် စာတည်းအဖွဲ့	ရှင်မောင်စာပေ, 2012.
ကုန်တော်တို့ ထားဝယ်သားပါ - ပထမအကြိမ်	ဆေးသိန်း	လင်းလင်းစာပေ, 2012.
နှစ်(၆၀)ပြည့်အထိမ်းအမှတ် ပညာတန်ဆောင် အထူးထုတ်ဝေခြင်း		ပညာတန်ဆောင်, [2012?]
ပညာတန်ဆောင်ဆီမီးတိုစောင့်ထိန်းသည့် စာရာကြမ်းထွန်းအောင် : ပညာတန်ဆောင်နှစ်ခြောက်ဆယ်ပြည့် အကြံပြုရေး (၂၀၁၂) - ပထမအကြိမ်	စုစည်းပြုစုသူ ဦးသန်းထွတ်	နေမျိုးစာပေသ, 2012.

## 2 情報発信

### 2-1 国立国会図書館の調査員向けの情報発信

調査及び立法考査局(国会のための調査・情報提供等を担当)との連携

#### ■ 調査員への「アジア情報室・新着資料情報」送信(国会開会中に月1回)

⇒ 中国・韓国などの立法・政策動向等に関する新着資料の内容を詳しく紹介

#### ■ 調査局刊行物への執筆協力

⇒ アジア諸国に関する資料・情報を調査してまとめ、情報に厚みを加える

※最近の執筆事例

「アジアインフラ投資銀行(AIIB)の概要」『調査と情報 —ISSUE BRIEF—』888号, 2015.12.24.

[http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_9578214\\_po\\_0888.pdf?contentNo=1](http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_9578214_po_0888.pdf?contentNo=1)

#### ■ 国会議員からの依頼調査への協力

⇒ 調査員から、アジア資料の確認・調査依頼を随時受付  
所管資料の確認・提供だけでなく、幅広く資料・情報を調査して回答

## 2 情報発信

### 2-2 ウェブサイトでの一般利用者向けの情報発信

資料利活用促進のためには、  
書誌情報をNDL-OPACで公開するだけでなく、ナビゲーションも必要

#### ■リサーチ・ナビ「アジア諸国の情報をさがす」

<http://rnavi.ndl.go.jp/asia/index.php>

- 「アジア言語資料の出版・書誌情報の紹介」ページ
  - ・ アジア各国における出版情報に関する情報源
  - ・ アジア地域刊行の日本関係資料 (Books on Japan) リスト
- 調べ方案内 ⇒ 分野・資料群別の資料・情報の調べ方ガイド
- アジア情報機関ダイレクトリー ⇒ 国内の資料所蔵機関名簿
- AsiaLinks ⇒ 有用なサイトを集めた地域・テーマ別のリンク集

9

## 2 情報発信

### 2-2 ウェブサイトでの利用者向けの情報発信

#### アジア諸国の情報をさがす

アジア地域で刊行された日本関係図書リスト (2016年7-9月整理分)  
/ List of books on Japan published in Asian countries (processed in Jul. - Sep., 2016)

1. 中国(香港、マカオを含む)、台湾 / 1. China (including Hong Kong, Macau) and Taiwan

タイトル / Title	シリーズ / Series	著者 / Author	出版者 / Publisher	出版年 / Year
A 政治・法律・行政 / Politics, Law, Administration				
日治時代後期台湾政治思想之研究 台湾学的分析 /				
抗日政変与中共編年 = Anti-Japanese war /				
中日历史问题与中日关系 /				
日本政府的兩岸政策 /				
日本近代大陸政策的的思想源流 亞洲主義の展開 /				
日本就実力研究 /				
情報與歴史 岡崎久彦建構の日本、中國與東京審判 正文与郭潔之法律証書 // 第33卷 近東国际刑事法庭審判记录 中国部分 全案				
Transcripts of the proceedings of the Internat. Tribunal for the Far East: the China-related concerning the full scale invasion of China.				

更新日: 2015年8月19日

#### インドネシアの経済・産業について調べる

アジア諸国の経済・産業については、「アジア諸国(中国を除く)の経済・産業について調べるには」の中で、東京本館科学技術・経済情報室の開架資料が紹介されています。ここでは、当館のすべての所蔵資料の中から、インドネシアの経済・産業について調べるための資料を詳しく紹介します。  
◎は東京本館と関西館で所蔵、○は東京本館のみ所蔵、●は関西館のみ所蔵しています。【】内は当館請求記号です。関西館のみ所蔵する欧文図書の請求記号は【】内に記載しました。☆はインターネット情報源です。

インドネシア経済事情全般・情報源ガイド  
インドネシア経済史  
統計  
貿易・投資(実用書を含む)  
金融 / 通信・IT / 鉱業・エネルギー産業 / 食品 / 農林水産業 / 出版・メディア

10

## 3 外部機関との連携

### 3-1 アジア情報関係機関懇談会

- 年に1度開催
- アジア情報関係機関との情報共有・意見交換の場
- 時宜にかなったテーマを設定し、適切なメンバーを選定
- 近年のテーマ
  - 平成25年度  
「調査研究部門に隣接する図書館は、その価値をいかに高められるか」
  - 平成26年度  
「多文化共生施策と図書館の多文化サービス」
  - 平成27年度  
「アジア資料・情報の領域におけるリソースシェアリングの課題」
  - 平成28年度  
「アジア情報の利活用促進に向けた課題」

11

## 3 外部機関との連携

### 3-2 アジア情報研修

より有意義な研修を目指してスタイルやテーマを見直し

- アジア言語の知識がなくても参加可能な研修(平成25年度)
  - 積極参加型の研修(平成26~28年度)
    - ・ 事前課題や調査実習・発表を中心とした組立
    - ・ 日本貿易振興機構アジア経済研究所との共催
    - ・ 中央省庁・地方公共団体の職員等、図書館員以外も対象に
  - 平成26~28年度のテーマ
    - ・ 平成26年度「中国・台湾の諸制度・統計を調べる」
    - ・ 平成27年度「中国と東南アジア諸国の政府情報を調べる」
    - ・ 平成28年度「韓国の諸制度と統計を調べる」
- ※平成29年度も引き続き、アジア経済研究所と共催予定

12

### 3 外部機関との連携

#### 3-2 アジア情報研修



13

### 3 外部機関との連携

#### 3-3 大学・公共図書館との連携

##### ■ ガイダンスの実施

- 職員派遣ガイダンス
  - 大学図書館との合同利用ガイダンス
  - 留学生向けガイダンス(英語で実施)
- 来館ガイダンス
  - 大学ゼミ生向けの情報探索ガイダンス
  - 海外からの研修生受け入れ

##### ■ 図書館員のための書誌情報作成の勉強会(1-2で紹介)

14

### まとめ —資料の利活用に向けて—

#### ■ 書誌情報の整備

- 利活用促進の大前提  
⇒滞貨を解消し、オンラインで資料を検索可能にすることで利活用を促進

#### ■ 情報発信

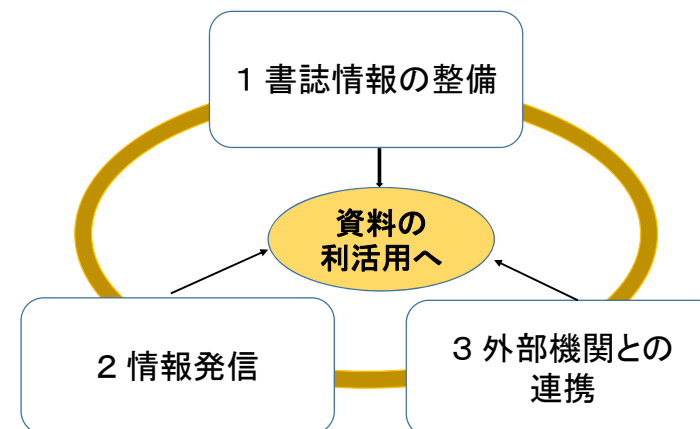
- ユーザーに有用な資料とその活用方法を紹介  
⇒資料へのアクセスを容易にして利活用を促進

#### ■ 外部機関との連携

- 課題の共有と解決方法の模索
- ユーザーや図書館員のスキルアップ  
⇒ユーザーによる資料利活用と図書館員による書誌作成・情報発信を促進

15

### まとめ —資料の利活用に向けて—



16